

取扱説明書

sachtler  **Vinten**

flowtech 75/100 三脚

flowtech™ 75  
flowtech™ 100



JP

**Copyright © 2018**

著作権所有。

**原版:英語**

All rights reserved through the world.

本書の内容の検索システムへの保存、送信、複写、複製は、写真複写、写真、磁気またはその他の記録を含むがこれに限らないいかなる方法においても、Videndum Group plc.の書面による合意および承認なく行うことはできません。

**免責事項**

本書に記載の情報は、本書の印刷時点では正確と判断されている情報です。Videndum Production Solutions Ltdは、本書に記載の情報および仕様を予告なく変更する権利を有します。変更内容は本書の改訂版に反映されます。

弊社は、本書を定期的に改訂して、製品仕様や特性の変更を反映するよう努めています。弊社製品の重要な機能に関する情報が本書に記載されていない場合は、ご一報ください。本書の最新版は、弊社ウェブサイトからご利用いただけます。

Videndum Production Solutions Ltdは、予告なく本製品のデザインおよび機能を変更する権利を有します。

**商標**

すべての製品の商標および登録商標はVidendum Group Plc.の所有物です。

その他すべての商標および登録商標は、それぞれ各社の所有物です。

**発行者**

Videndum Production Solutions Ltd

安全上の注意事項	4	ブレーキ力の確認	25
安全上の注意事項、用途、保証規定、延長保証	5	ブレーキ力の調整	26
各操作部の名称	6	開閉時の固さ調整	27
アクセサリ	7	技術仕様	28
設置	9		
三脚のセッティング	9		
アクセサリの中間スプレッダーの取り付け	10		
アクセサリのグラウンドスプレッダーの取り付け	13		
スプレッダー不使用時の脚部の固定方法	17		
脚部の開き方	18		
別の脚部固定方法	20		
脚部の閉じ方	21		
アクセサリの取り付け	22		
アクセサリ取り付け用留め具の固定	22		
キャリアストラップ(アクセサリ)の取り付け	22		
ラバーフィート(アクセサリ)の取り付け	23		
キャリアハンドル(アクセサリ)の取り付け	23		
保守	24		
清掃	24		
脚部の洗浄	24		
ヒンジロック部の清掃	24		

このたびはザハトラー/ヴィンテンカメラサポート製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

製品のご使用前に、必ず本取扱説明書をよくお読みになり、製品を正しくお使いください。また、本書は必要な時にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

# 安全上の注意事項

本製品の安全な取り付けおよび取り扱いに関する重要な情報です。本製品を使用する前に、必ずお読みください。安全な取り扱いのために、下記の注意事項を遵守してください。安全な取り扱い方法を理解してから、本製品を使用してください。この注意事項を保管し、必要なときに参照してください。

## 本書に使用されている警告マーク

本書には、安全上の注意事項が記載されています。人身傷害の危険や本製品の損傷を回避するために、安全上の注意事項を遵守してください。



**警告！** 人身傷害のリスクまたは他人に危害を加えるリスクがある場合、三角形の警告記号が付されたコメントが表示されます。

製品、関連機器、プロセスまたは周囲に損傷を与えるリスクがある場合、「**注意**」という用語が付されたコメントが表示されます。

## 健康と安全



**警告！** 人身傷害または他者への危害につながる危険があります。すべての職員が十分に訓練され、正しい手動の取り扱い手法および健康と安全に関する規制を順守する必要があります。使用する国または地域の関連機関の責任の下に、いかなる時にも安全な作業習慣を徹底します。

## 取り付けと設置



**警告！** 最大耐荷重を超える重さの機材を載せないでください。



**警告！** 脚部の先端に付いているスパイク部にご注意ください。クイックリリースレバーを解除する際は、必ず三脚を床に置いた状態で操作してください。



**警告！** 指が挟まれる恐れがあります。三脚を操作する際はご注意ください。



**警告！** 三脚の設置の際には、周囲の状況に合わせて脚部の開き具合を調整してください。歩行者等がつかまついて、転倒する恐れがあります。



**警告！** 三脚システムを立てたままで放置しないでください。特に小さなお子様の周囲で使用する場合はお気を付けください。三脚に力が加わると、転倒する恐れがあります。



**警告！** 三脚の使用時は、必ずクイックリリースレバーを完全にロックしてください。脚部が不意に移動し、三脚が倒れる恐れがあります。



**警告！** クイックリリースレバーを解除する際は、積載物を支えながら行ってください。クイックリリースレバーは、下側に完全に閉じた状態となった時のみ、適切にロックされます。



**注意！** 三脚の高さや脚の位置を調整する際は、積載物をしっかりと支えながら行ってください。



**注意！** スプレッダー上に足を乗せたり、重いウェイトを置いたりしないでください。



**注意！** 三脚システムの運搬の際は、必ず事前にカメラを取り外してください。

## 保守



**警告！** 認定外の部品やアクセサリを取り付けたり、認定外のサービス担当者が修理を行ったりした場合、製品の安全性に悪影響を及ぼす恐れがあります。製品保証条件も無効になる可能性があります。

## 用途

flowtech 75/100三脚は、テレビ放送スタジオあるいは屋外でのロケーション撮影において、フルードヘッドおよびビデオカメラを保持する目的で設計された三脚です。これ以外の用途への使用は不適切であり、製品保証の対象外となります。

## 保証規定

本製品の保証期間は1年間です。

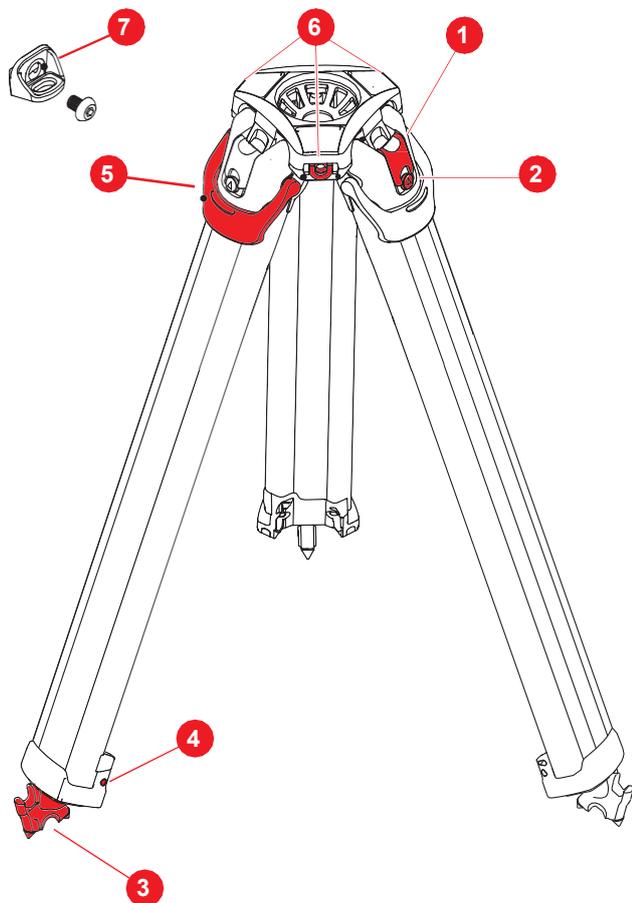
次の場合、保証は無効となります。

- 本書の記載内容に反する不適切な方法で三脚を設置または使用した場合。
- 三脚のハウジングが許可された専門職員以外の者によって開かれた場合。

## 延長保証

製品の登録をしていただきますと、保証期間が1年間延長され、計2年間になります。

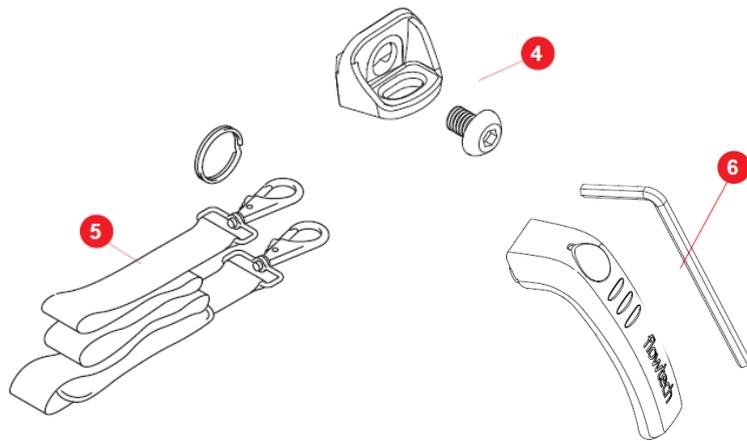
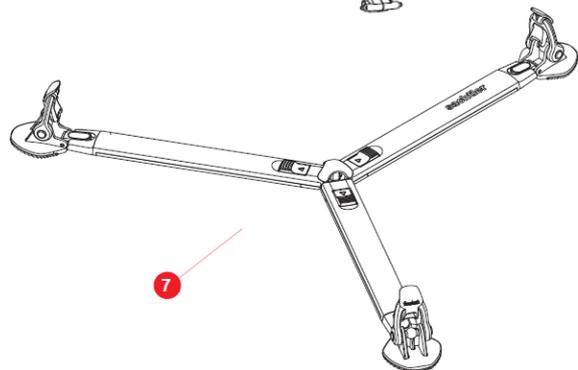
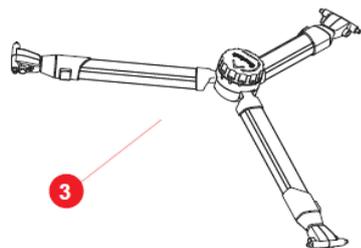
# 各操作部の名称



位置番号	説明
1	ヒンジロックスライダー
2	ヒンジロックボタン
3	スパイク付きフット
4	脚部固定用マグネット
5	クイックリリースレバー
6	アクセサリドック (3か所)
7	アクセサリ取り付け用留め具

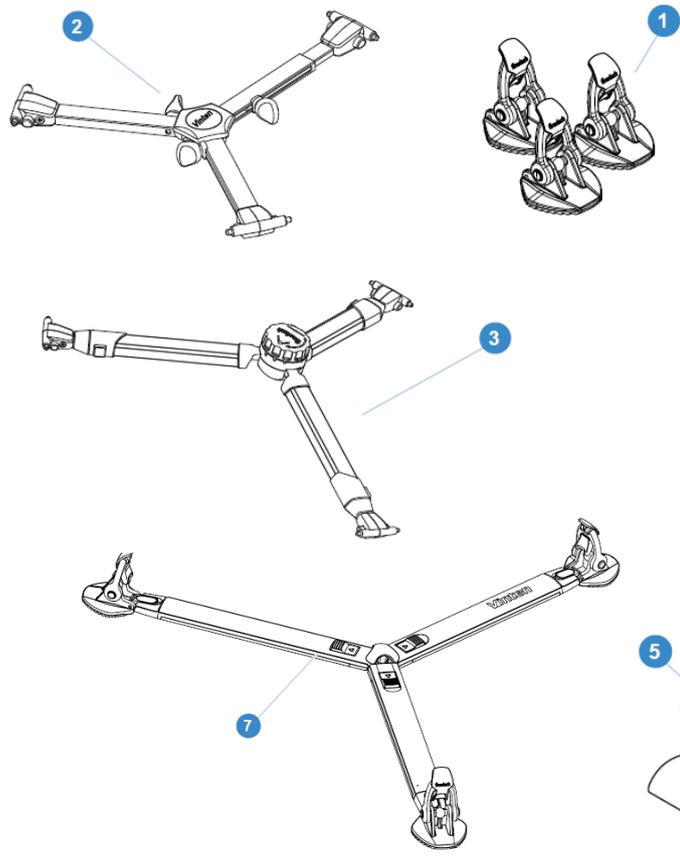
# オプションアクセサリ一覧

sachtler 

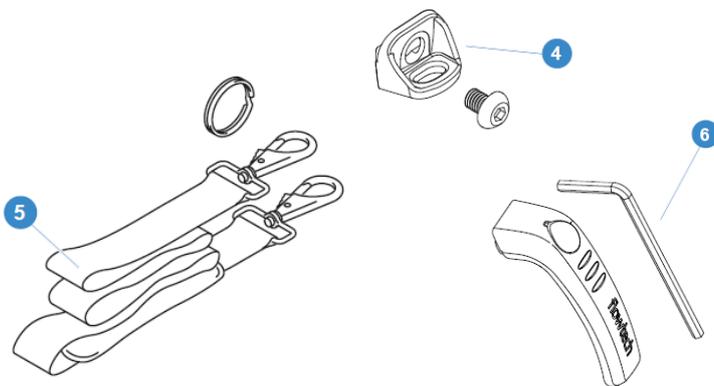


位置番号	説明	製品コード
1	ラバーフィート×3個	S2052-1070
2	中間スプレッダーFlowtech75	S2054-1001
3	中間スプレッダーFlowtech100	S2056-0001
4	アクセサリ取り付け用留め具	S2051-1900
5	キャリーストラップキット	8691
6	キャリーハンドル(六角レンチ同梱)	S2051-1061
7	グラウンドスプレッダー	S2058-0001

# Vinten



位置番号	説明	製品コード
1	ラバーフィート×3個	V4160-1070
2	中間スプレッダーFlowtech75	V4151-1001
3	中間スプレッダーFlowtech100	V4161-0001
4	アクセサリ取り付け用留め具	V4150-1900
5	キャリーストラップキット	V4150-1851
6	キャリーハンドル(六角レンチ同梱)	S2051-1061
7	グラウンドスプレッダー	V4162-0001



# 設置

## 三脚のセッティング

1. それぞれの脚は、固定用マグネットで固定されています。脚の下側を持って引っ張りながら開き、引き離します。
2. 三脚を地面に置きます。クイックリリースレバーを下図②のようにしっかりと上まで引き上げ、三脚を必要な高さまで持ち上げます。

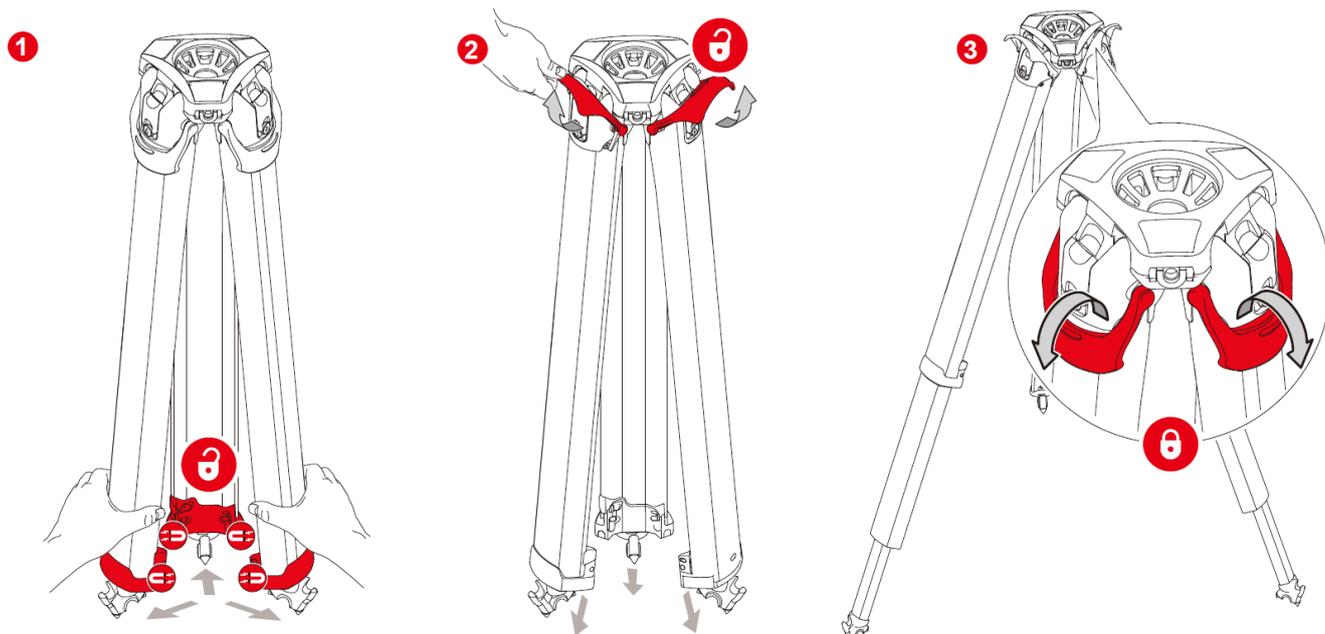


**警告！** 危険ですので、三脚のスパイク付きフットは慎重に取り扱ってください。クイックリリースレバーを解除する際は、常に三脚を地面に置いておくようにしてください。

3. 高さが確定したらクイックリリースレバーを完全に引き下げて閉じ、それぞれの脚をその位置で固定します。



**警告！** クイックリリースレバーは、下側に完全に閉じた状態となった時のみ、適切にロックされます。



## 中間スプレッダーFlowtech75の取り付け

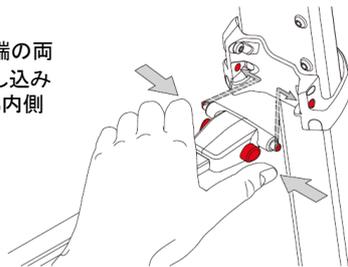


**注意！** 中間スプレッダーのラッチピンが、三脚にあるスプレッダー固定用穴にきちんと挿入されていることを確認してください。不完全な挿入状態のまま使用すると、三脚が損傷する場合があります。

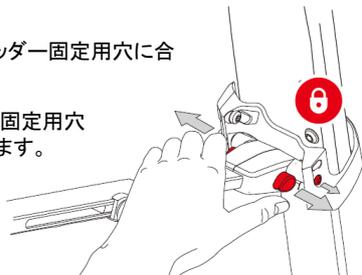


スプレッダーが同梱されている三脚システムでは、ヒンジロックボタンはオフの状態でお荷されています。詳しくは本書17ページの「スプレッダー使用モードとは」を参照してください。

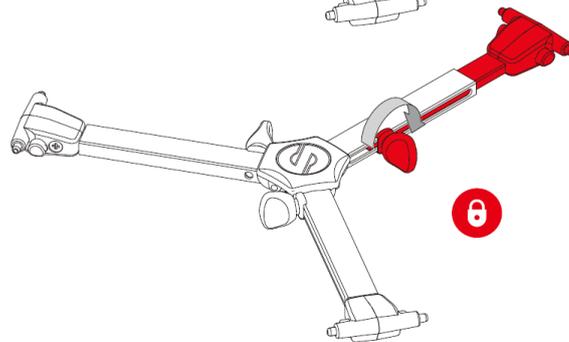
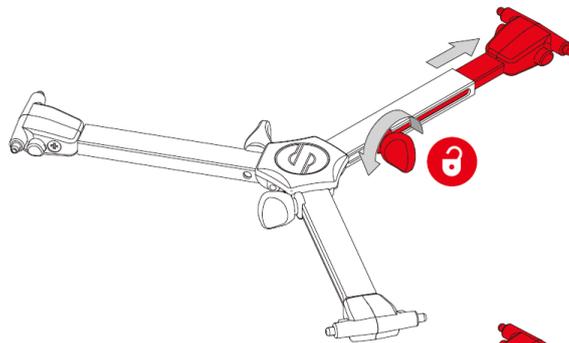
1. 親指と人差し指で、スプレッダー先端の両側にあるリリースボタンを内側に押し込みます。それに合わせて、ラッチピンも内側に収納されます。



2. ラッチピンの位置を、三脚のスプレッダー固定用穴に合わせてます。
3. リリースボタンを離し、ラッチピンを固定用穴に挿し込んでスプレッダーを固定します。



4. アーム固定ノブを回して緩め、スプレッダーのアームを伸ばせるようにします。
5. 脚部を適切な位置に設置し、固定ノブを締めてアームを固定します。



中間スプレッダーの取り付け時に三脚が十分に開かず、スプレッダーが平らにならない場合は、三脚のヒンジロックがオフ(スプレッダーモード)になっているかを確認してください。詳しくは本書17ページの「スプレッダー使用モードとは」を参照してください。

## 中間スプレッダーFlowtech100の取り付け

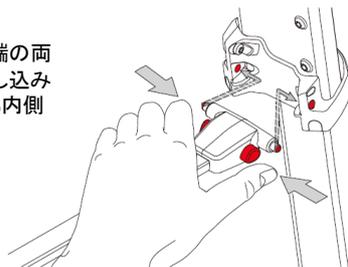


**注意！** 中間スプレッダーのラッチピンが、三脚にあるスプレッダー固定用穴にきちんと挿入されていることを確認してください。不完全な挿入状態のまま使用すると、三脚が損傷する場合があります。



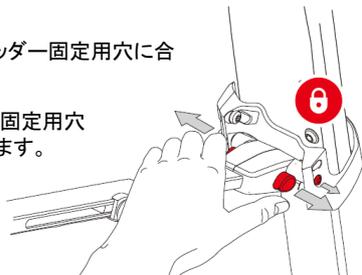
スプレッダーが同梱されている三脚システムでは、ヒンジロックボタンはオフの状態でご出荷されています。詳しくは本書17ページの「スプレッダー使用モードとは」を参照してください。

1. 親指と人差し指で、スプレッダー先端の両側にあるリリースボタンを内側に押し込みます。それに合わせて、ラッチピンも内側に収納されます。



2. ラッチピンの位置を、三脚のスプレッダー固定用穴に合わせてます。

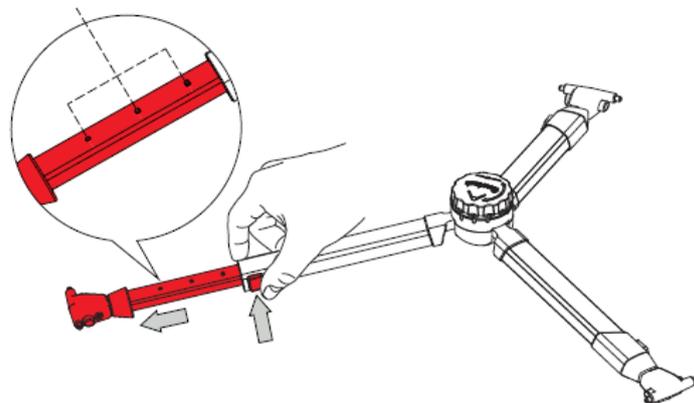
3. リリースボタンを離し、ラッチピンを固定用穴に挿し込んでスプレッダーを固定します。



## 中間スプレッダーFlowtech100の使用方法

1. 下図のようにアームのリリースボタンを押し込みます。
2. 内部のアームを任意の長さまで伸ばし、リリースボタンを離します。

### 長さマーカー



**注意！** 内部のアームを押し戻さないでください。常にリリースボタンを使用して伸縮をしてください。

内部のアームには3段階の長さマーカーがあります。(上図をご参照ください)  
これは、視覚的にアームの長さを設定する際に役立ちます。



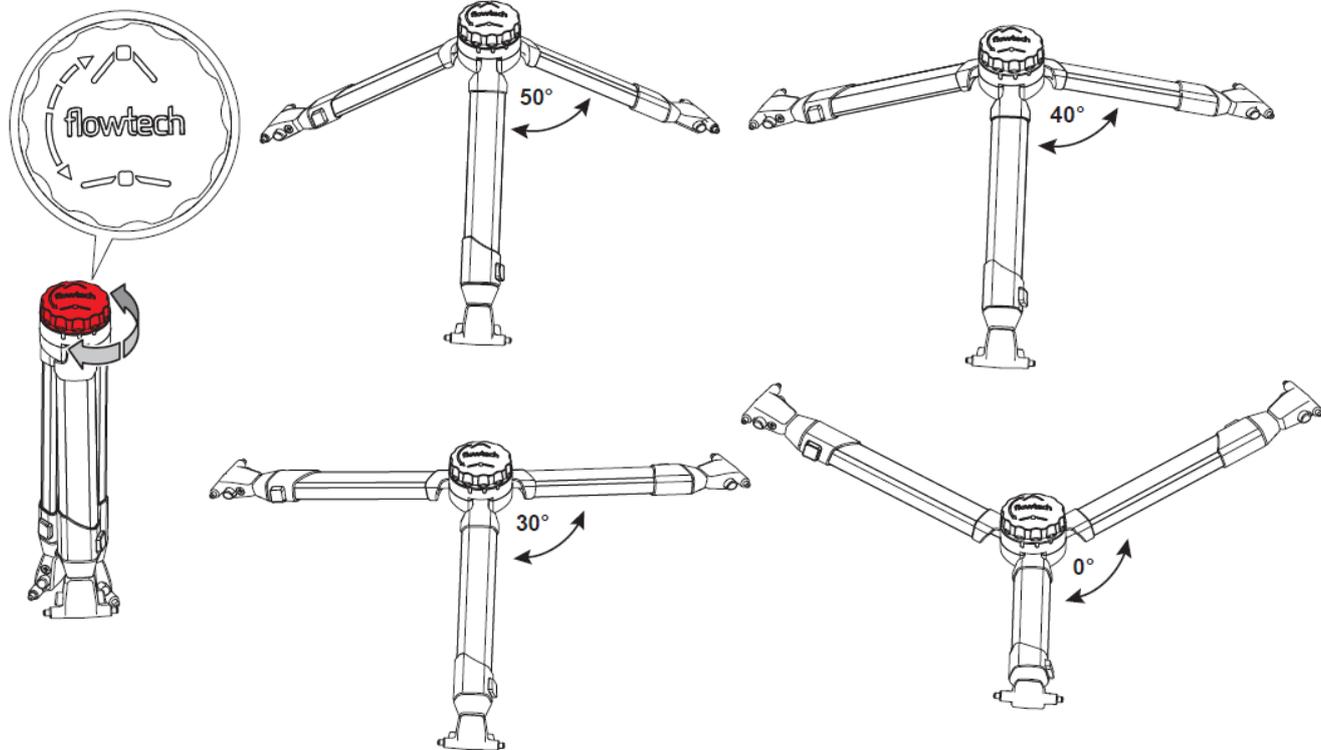
スプレッダーが希望の位置で開かない場合は、三脚のヒンジロックがOFF(スプレッダーモード)になっているかご確認ください。

詳しくは本書17ページの「スプレッダー使用モードとは」を参照してください。

# 設置

Flowtech100用中間スプレッダーは0°、30°、40°、50°の4段階に調節が可能です。

1. スプレッダーの上にある調節キャップを反時計回りに回すことで、設定した位置で開くことができます。
2. 各ポジションでプラスのクリック感が感じられます。



## グラウンドスプレッダーFlowtech75/100の取り付け

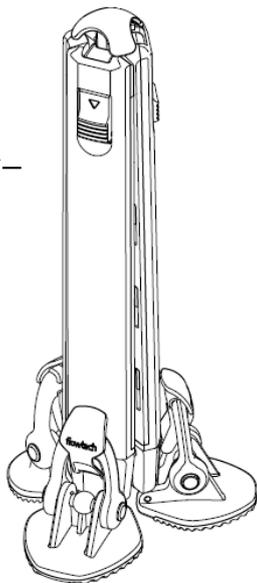


**注意！** グラウンドスプレッダーを付けた状態で三脚を折り畳む場合は、グラウンドスプレッダーの脚がすべて同じ長さになっていることをお確かめください。この手順を守らないとグラウンドスプレッダーが破損する場合がございます。

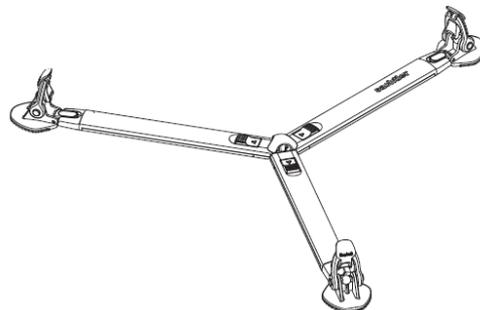


スプレッダーが同梱されている三脚システムでは、ヒンジロックボタンはオフの状態出荷されています。詳しくは本書17ページの「スプレッダー使用モードとは」を参照してください。

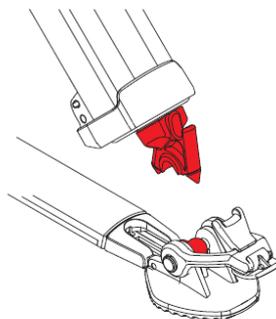
グラウンドスプレッダー  
を折り畳んだ場合



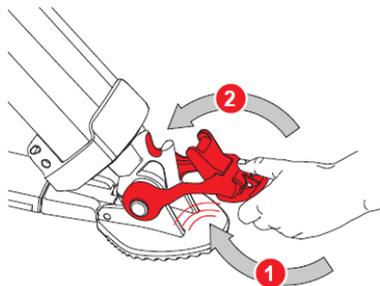
1. 床の上でスプレッダーを平らに置きます。



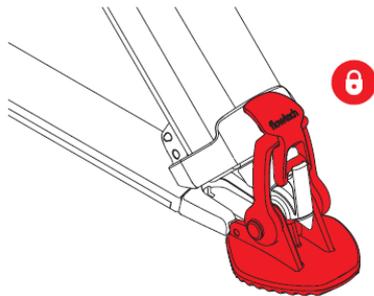
2. 三脚のスパイク部分をスプレッダーの脚の上に置きます。



3. ゴム製ストラップを曲げ ①、スパイク部の上にある凹部とレバー端の凹部とを合わせます。
4. ロック位置に到達するまで、レバーを上側 ② に持ち上げます。



5. 三脚のスパイク部とグラウンドスプレッダーのフィートを固定します。



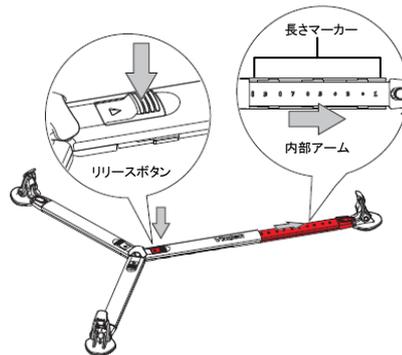
## グラウンドスプレッダーFlowtech100の使用法

1. 三脚に取り付けた場合、足でリリースボタンを踏み、押し続けます。(下図をご参照ください)
2. 内部のアームを必要な長さに伸ばし、リリースボタンから足を離します。(全部で11個のポジションがあります)



**注意！** 内部のアームを押し戻さないでください。  
常にリリースボタンを使用して伸縮をしてください。

内部のアームには長さマーカーがあります。(下図をご参照ください)  
これは、視覚的にアームの長さを設定する際に役立ちます。



スプレッダーが希望の位置で開かない場合は、三脚のヒンジロックがOFF(スプレッダーモード)になっているかご確認ください。  
詳しくは本書17ページの「スプレッダー使用モードとは」を参照してください。

## グラウンドスプレッダーを取り付けたまま三脚を閉じる場合

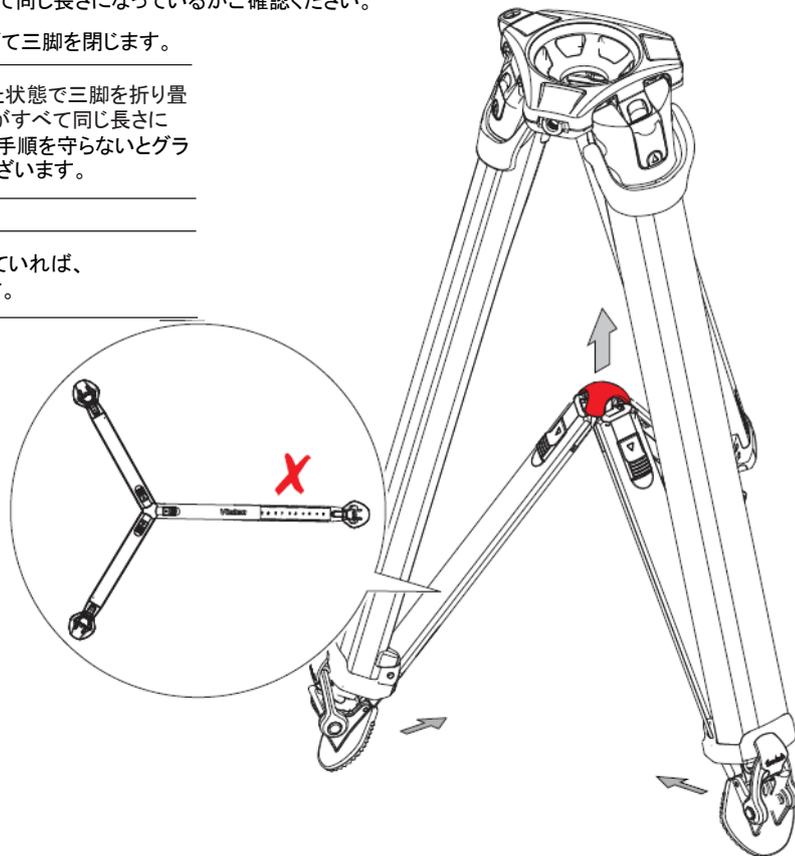
1. 三脚を閉じる場合、スプレッダーの脚がすべて同じ長さになっているかご確認ください。
2. センターノブを使ってスプレッダーを持ち上げて三脚を閉じます。



**注意！** グラウンドスプレッダーを付けた状態で三脚を折り畳む場合は、グラウンドスプレッダーの脚がすべて同じ長さになっていることをお確かめください。この手順を守らないとグラウンドスプレッダーが破損する場合がございます。

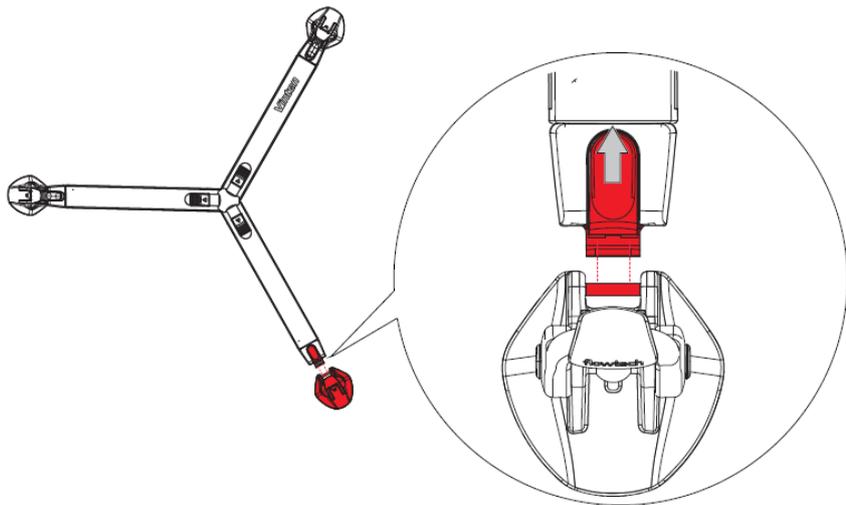


三脚はスプレッダーの脚の長さが揃っていれば、最短でも最長でも閉じることが出来ます。



## グラウンドスプレッダーからフィートを外す場合

1. スプレッダーからフィートを外す場合、フットリリースボタンをスプレッダーの中央に向かって押します。
2. フィートをスプレッダーから持ち上げます。
3. フィートをスプレッダーに再度取り付ける際は手順を逆にします。



スプレッダーが三脚に取り付けてあっても、フィートから取り外すことが可能です。

### 清掃方法:

使用后、必要に応じて綺麗な水で洗い流してください。

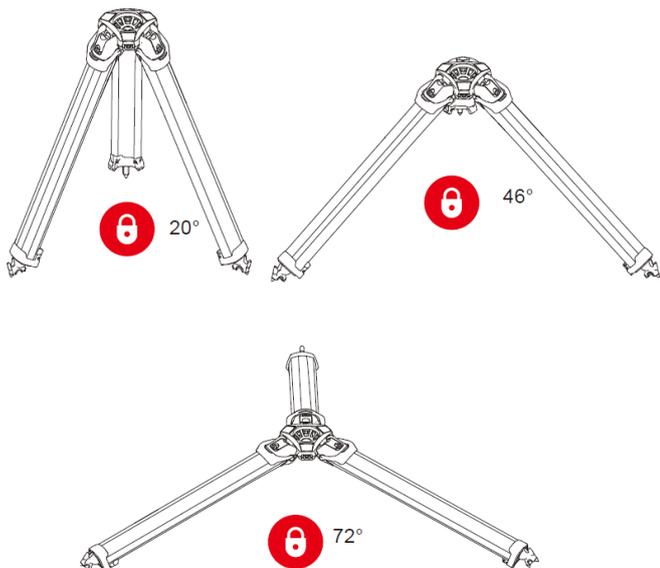
# 設置

## スプレッダー不使用時の脚部の固定方法



三脚脚部は、スプレッダーを使用しなくても、3か所の固定位置に固定することができます(スプレッダー不使用モード)。

1. 三脚には、20°、46°、および72°の3か所の固定位置が設定されています



**注意!** 破損の危険があります。72°のヒンジロック設定は、脚を十分に広げられるスペースがある場合のみ使用してください。また、この状態で耐荷重を超える荷重をかけないでください。

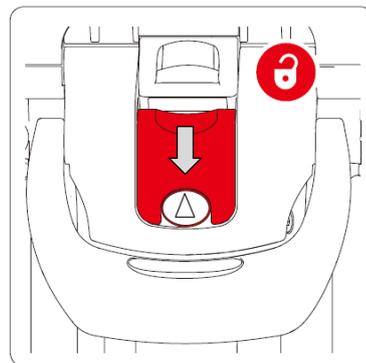
## スプレッダー不使用モードとは

2. ヒンジロックスライダーが上になっている時、ロックがかかる状態となっており、3か所の固定位置で脚部が固定されます(スプレッダー不使用モード)。ヒンジロックボタンを押すと、ヒンジロックスライダーが上になり、ロックが可能となります。



## スプレッダー使用モードとは

3. ヒンジロックスライダーが下に下がっている時、ロックはオフ状態となり、脚部を自由に開くことができます(スプレッダー使用モード)。ロックレバーを指で押し下げると、ヒンジロックスライダーが下側で固定され、ロックが解除されます。

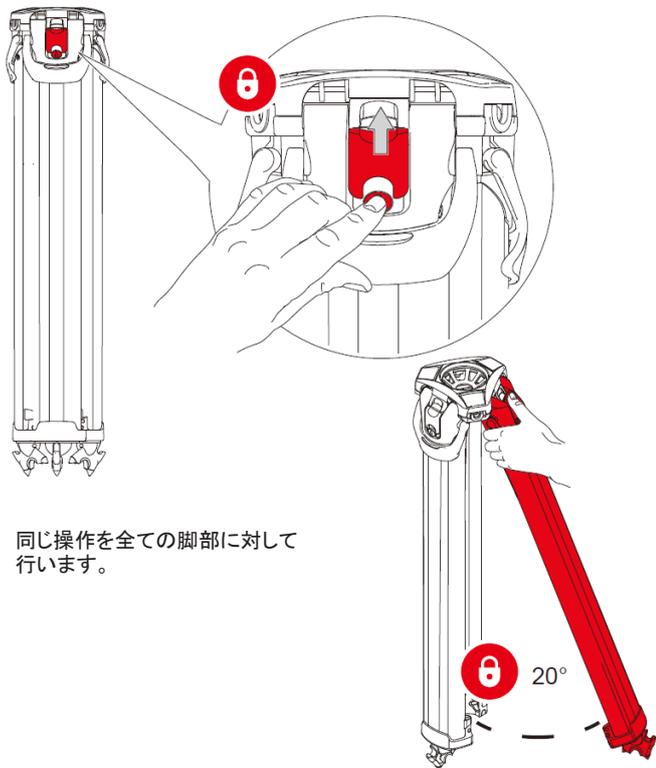


# 設置

## 脚部の開き方

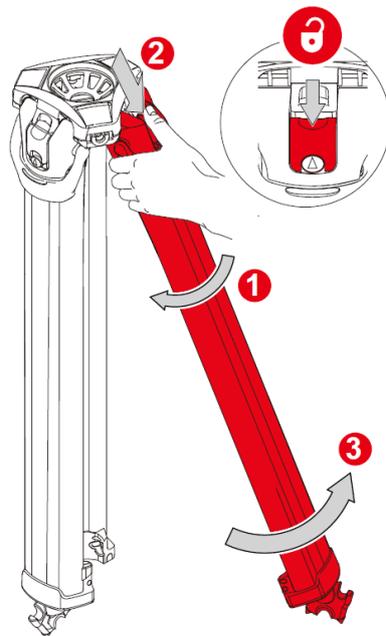
20° の位置が最もよく使用される三脚の角度です。

1. ヒンジロックボタンを押してロックをかけます(スプレッター不使用モード)。
2. 脚を外側に引くと、脚はまず20° の固定位置で固定されます。



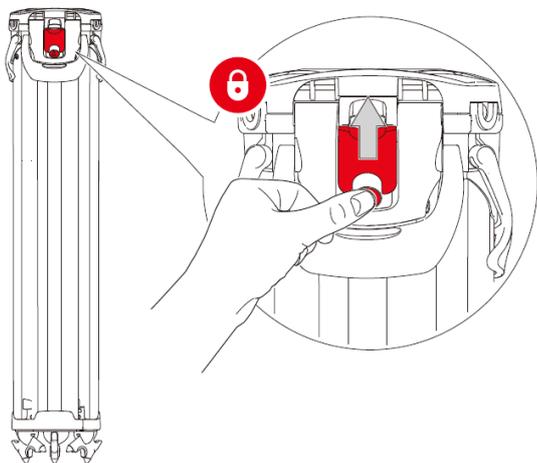
各脚の角度は、全て個別に調整することができます。

3. 46° および72° の位置を選択する場合は、まずロックを解除します。
  - a. 脚を一旦わずかに内側に曲げ ①、ヒンジロックスライダーの張力を和らげます。
  - b. ヒンジロックスライダーを下に押し、スプレッター使用モードにし ②、その状態で脚を外側に開きます ③。脚部は20° を超えて開きます。

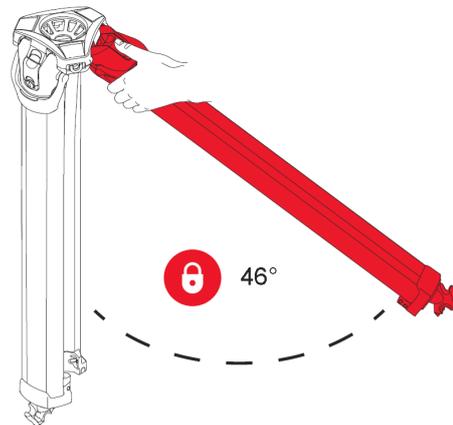


# 設置

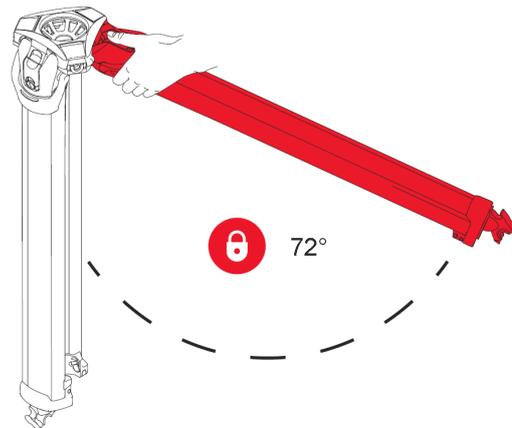
4. ヒンジロックボタンを押して、ヒンジロックスライダーをロック状態にします。



5. 46° のロック位置で固定されるまで脚を開きます。



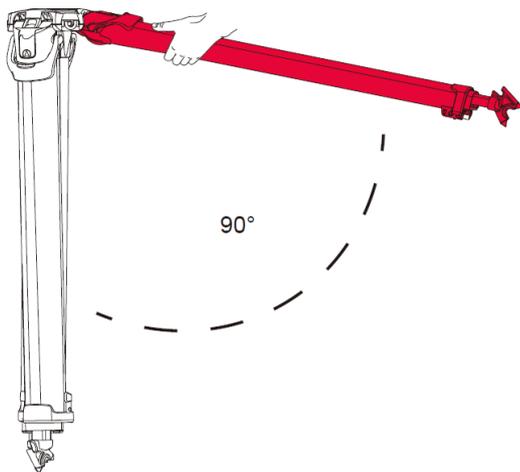
6. 脚部を72° に開く場合も同様に、ヒンジロックスライダーの解除、脚部の移動、ヒンジロックスライダーロック、の手順で操作します。



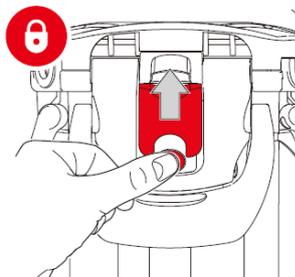
# 設置

## 別の脚部固定方法

1. ヒンジロックスライダーを押し下げてロックを解除し、脚をまず90° の位置まで完全に開きます。



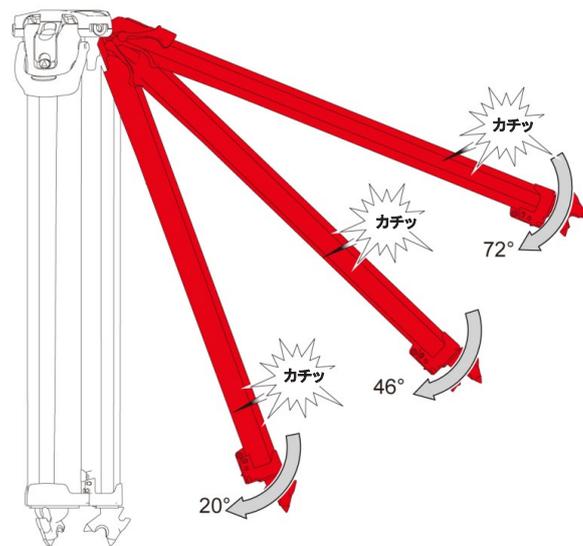
2. ヒンジロックボタンを押してロックをかけます。



**警告！** 指が挟まれる恐れがあります。三脚を操作する際に指が挟まれないように注意してください。

3. 完全に開いている脚を、内側に閉じて行きます。脚が各ロック位置を通過すると、「カチッ」と言うクリック音が聞こえ、ロック状態となります。脚をそのまま閉じて行くと、次のロック位置でクリック音がします。

脚を再び開く場合は、ヒンジロックスライダーを押し下げてロックを解除してから行います。



# 設置

## 脚部の閉じ方

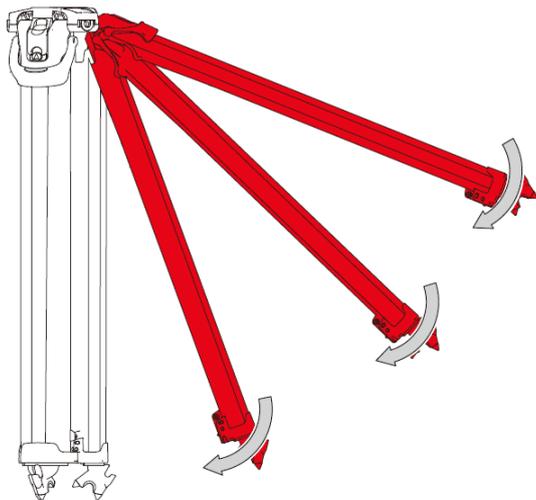
1. 脚は、ヒンジロックのロック状態によらず、閉じることができます。
2. 脚部を閉じる場合は、予め全ての脚を完全に縮めた状態にしてから、内側に閉じます。



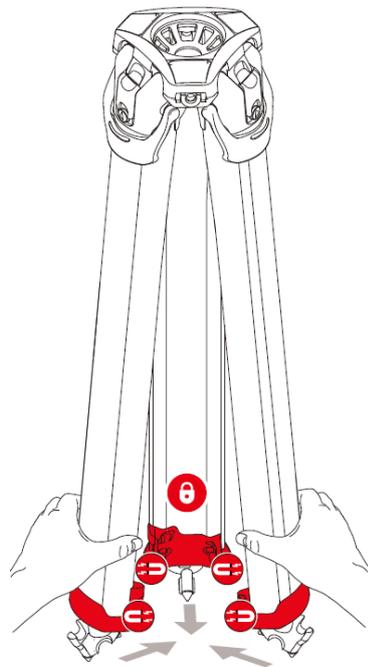
**警告！ 指が挟まれる恐れがあります。**三脚を操作する際に指が挟まれないように注意してください。



三脚は、中間スプレッダーを装着した状態でも脚部をきちんと閉じられるように設計されています。



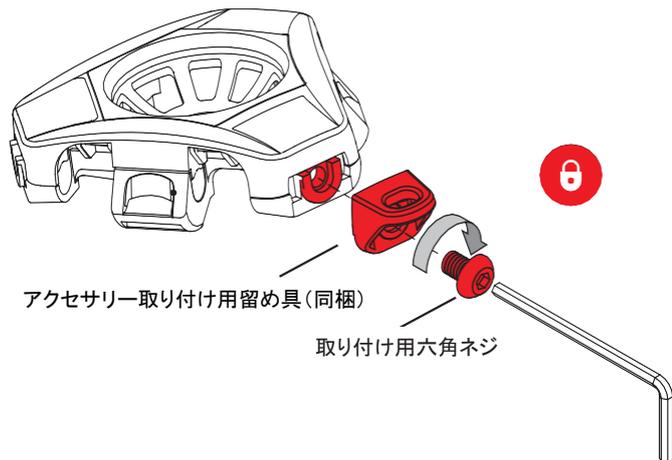
3. 脚部固定用マグネットによって、それぞれの脚がしっかりと固定していることを確認します。



# アクセサリーの取り付け

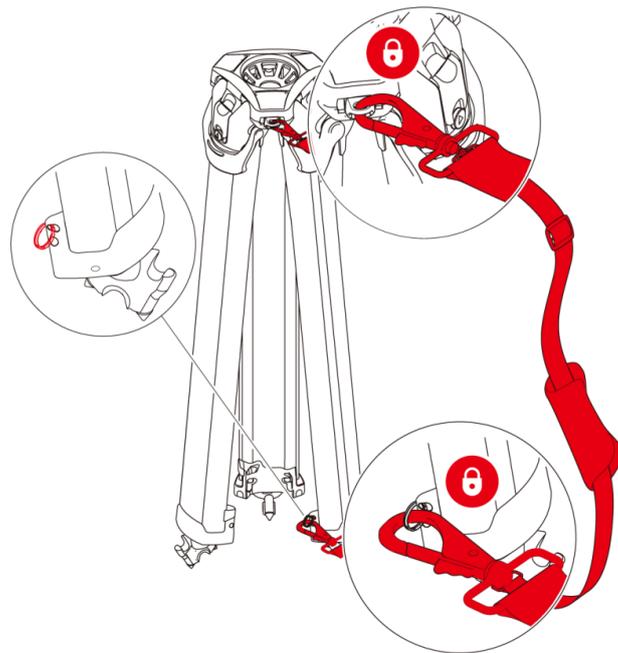
## アクセサリー取り付け用留め具の固定

1. 三脚ヘッド部にある3か所のアクセサリドックに、同梱の取り付け用留め具やオプションのハンドル、マジックアームなどを固定することができます。
2. 取り付け用留め具を固定する場合は、まず三脚ヘッド部の接続ポイントに留め具を合わせます。
3. 同梱の六角ネジを挿入し、六角レンチで時計回りに回して固定します。
4. その他のアクセサリーを取り付ける場合も、同じ手順で固定します。



## キャリーストラップ(アクセサリー)の取り付け

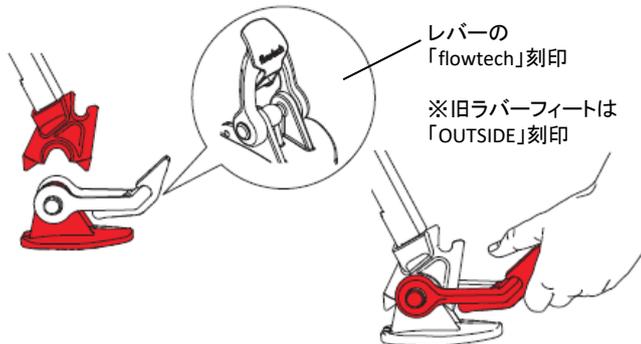
1. 前述の「アクセサリー取り付け用留め具の固定」を参照して、留め具を三脚ヘッドに取り付けます。
2. 脚部を縮めた状態で、脚の一段目の下部にある穴にスプリットリング(ストラップに同梱)を通し、そこにストラップのフックを通します。
3. 三脚ヘッド部の留め具に、ストラップのもう一方のフックを通します。



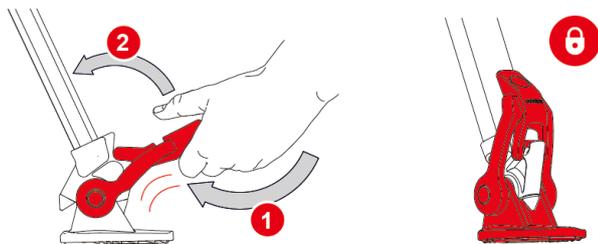
# アクセサリーの取り付け

## ラバーフィート(アクセサリー)の取り付け

1. ラバーフィートを、二本のスパイクの間に置きます。この時、レバーに刻印されている「flowtech」の表示が外側に向くようにします。



2. ゴム製ストラップを曲げ ①、スパイク部の上にある凹部とレバー端の凹部とを合わせます。
3. ロック位置に到達するまで、レバーを上側 ② に持ち上げます。

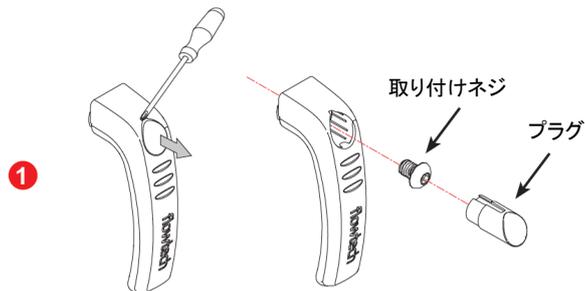


レバーがロックされた状態

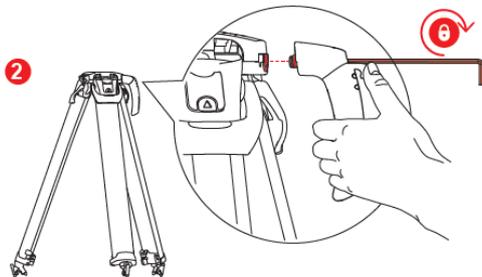
## キャリーハンドルの取り付け

アクセサリドックのひとつにハンドルを取り付けます。

1. 小さなドライバーを使用して、取り付けネジが見えるようにハンドルの上部からプラグを取り外します。



2. 同梱の六角レンチを使用して、図のようにハンドルの取り付けネジをアクセサリドックに合わせて時計回りに締めます。その際にハンドルが固定されていることを確認してください。プラグの溝を上側にしてハンドルに差し込み、しっかりと押し込まれていることを確認してください。



## 清掃



**注意！** 本体表面が汚れた場合は、きれいな水ですすいだ柔らかい布を使用し、拭き取ってください。溶剤や油性洗剤、研磨剤やワイヤーブラシなどの使用はお止めください。表面保護材を傷付ける可能性があります。

糸くずのない布で、乾拭き掃除を定期的に行ってください。保管時や不使用期間中に蓄積した汚れは、掃除機などで取り除いてください。特に三脚のボールベース部は、汚れが蓄積しないようご注意ください。

屋外の様々な条件下で三脚を使用した場合、特に注意が必要です。塩水がかかった場合、できるだけ早くきれいな水で洗い流してください。砂や埃は、可動部に挟まった場合に傷を生じさせる原因となりますので、少し固めのブラシや掃除機などを使用し十分に取り除いてください。

更に過酷な状況で使用された場合、砂粒などが三脚内部に入り込む可能性があります。その際は、それらの異物を洗い流す必要があります。

## 脚部の洗浄

1. 三脚を30 cmほどの深さのきれいな水を張ったバケツに入れます。
2. クイックリリースレバーを解放し、三脚を完全に伸ばします。
3. フット部分を水に浸けたまま、三脚を繰り返し伸縮させます。水を脚部全体に循環させ、砂粒などの異物が排出されて脚が自由に動くようになります。
4. 必要に応じて、この操作を繰り返し行います。
5. 清潔で乾燥した布を使用し、三脚の外装の水分を拭き取ります。

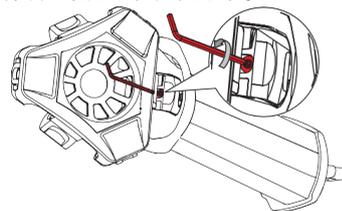
## ヒンジロック部の清掃

ヒンジロック部は、砂粒などの異物を機構部の外に排出できるように設計されています。

ヒンジロック部に異物が挟まるなどした場合は、ヒンジロックボタンおよびスライダーを交互に操作して動かします。異物が機構部から外れてスムーズに動作するようになるまで、繰り返し操作してください。

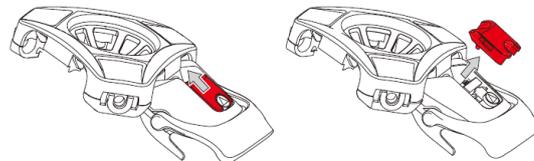
この手順で異物が取り除けない場合は、下記の手順に従って機構部を分解し清掃します。

1. 脚を引いて、M4ロックネジが見えるようにします。
2. 2.5mmまたは3/32"の先端が球状の六角レンチを使用して、M4ロックネジを反時計回りに回して取り外します。

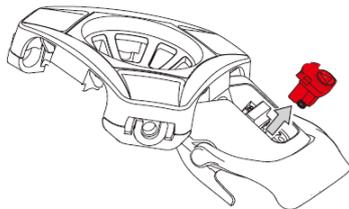


**注意！** ネジがロック機構から落ちてしまった場合は、脚を閉じようとしないでください。三脚を上下逆さまにして振り、プライヤーを使用してネジを取り出してください。

3. ネジを外し、脚を水平位置まで持ち上げ、ヒンジロックスライダーをボウル部分に向かって押します。



## 4. ヒンジロックボタンを持ち上げます。

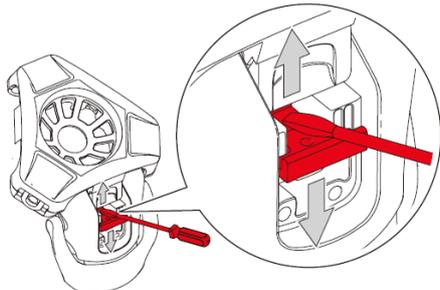


## 5. 不要物を取り除くため、圧縮空気を使用して清掃を行います。



**警告！** 圧縮空気を使用する場合、怪我を避けるため適切な安全用メガネを装着してください。

## 6. マイナスドライバーの先端を使用してロックの中心部分を押し、ヒンジロックを上下に動かすと、不要物が機構の底部から外に排出されます。



## 7. ロック機構の清掃が済んだら、アセンブリを反転させて2~4の手順を繰り返します。



**注意！** M4ロックネジを交換する場合、ネジをネジ山に合わせてカチッと音がするまで反時計回りに回し、その後時計回りに締めます。これにより、ネジが逆方向に取り付けられることがなくなります。

## ブレーキ力の確認

定期的に脚のブレーキ力の効果を確認し、必要な場合は調整します。

1. 脚の2段目(中央部)および3段目(最下部)を、それぞれおよそ20cmずつ伸ばします(下図参照)。
2. 重量計の上に、三脚の傷付きや横滑りを防止するためゴム製マットなどを敷きます。1本の脚を重量計の上に置き、下に向けて垂直に力を加えます。



**警告！** 下方向に力を加えた際に脚が滑る事を防ぐために、必ず滑り防止マットを使用してください。



**警告！** 指を挟む危険性があります。指が挟まれないように注意してください。



Flowtech75	Flowtech100
20kg未満	25kg未満

上記の荷重で脚部が緩む(ブレーキがゆるい)



Flowtech75	Flowtech100
20~25kg	25~30kg

上記の荷重範囲で脚部の縮み無し(適切な状態)

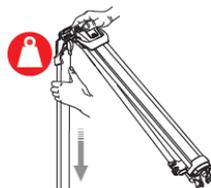


Flowtech75	Flowtech100
25kg~	30kg~

上記の荷重でも脚部の縮み無し(ブレーキがきつい)

3. ブレーキの調整が適切である場合、平均的な荷重(20~25 kg)を加えた状態で、脚は伸びたままとなります。

4. 20 kg以下の荷重で脚が滑り、縮んでしまう場合、ブレーキの調整が必要です。次項の「**ブレーキ力の調整**」をご参照ください。



20 cm

20 cm

10	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	flowtech 75
32	33	34	35	36	37	38	39	40	kg	flowtech 100			

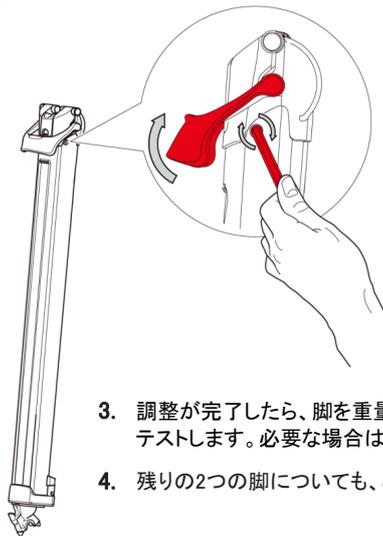
平均的なスリッパ力

## ブレーキ力の調整

1. クリックリリーススレバーを持ち上げ、調整用の六角ネジが見えるようにします。2.5mmまたは3/32”の六角レンチを使用して時計方向に回し、ブレーキ力を強めます。
2. 10回完全に回すと、およそ2 kgのブレーキ力が追加されます。



注意！ ブレーキ部品の摩擦や負荷が増えるため、必要以上に調整ネジを締め付けしないでください。



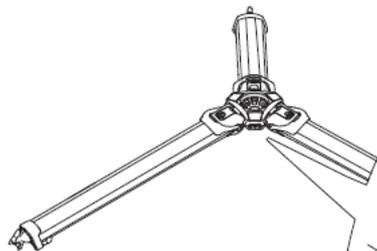
3. 調整が完了したら、脚を重量計に置いてもう一度ブレーキ力をテストします。必要な場合は、再度調整します。
4. 残りの2つの脚についても、この手順を繰り返します。



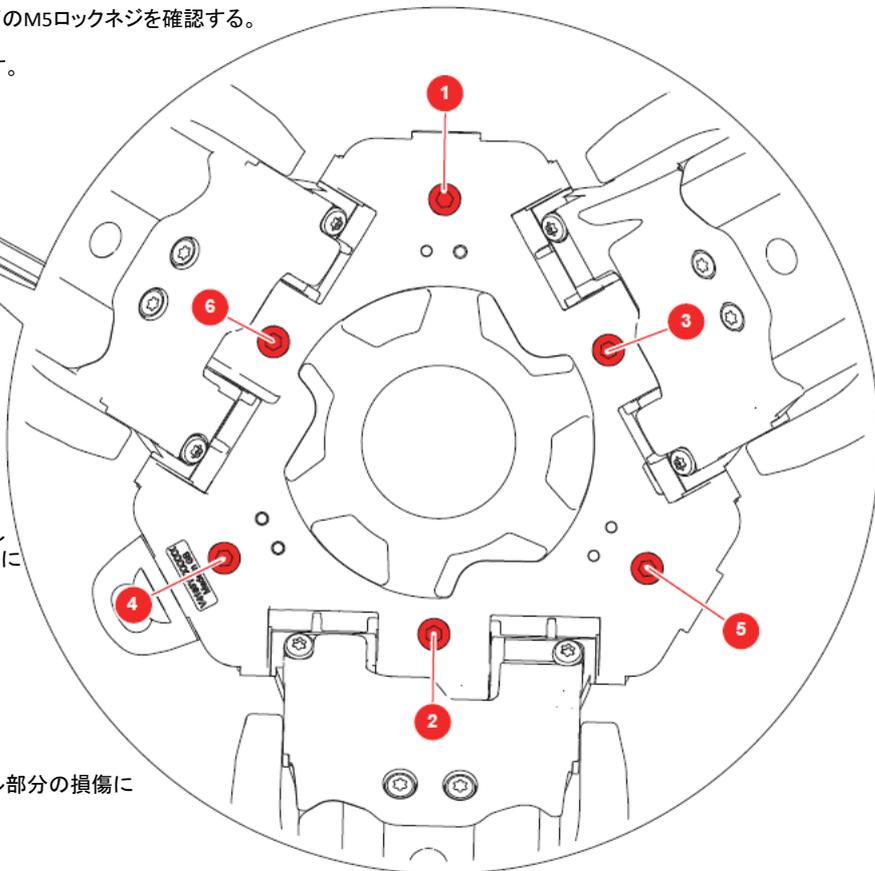
調整を行っても適切なブレーキ力が得られない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 開閉時の固さ調整

1. 脚部の開閉時の固さ調整を行う場合は、脚を開いて裏面のM5ロックネジを確認する。
2. これらのM5ロックネジの適正トルクは2.5Nm～3.5Nmです。



3. トルクドライバーを用いてM5ロックネジを適正トルクに調節する。(2.5Nm～3.5Nm)
4. 右図の番号順に、常に対称位置のネジを締める。
5. もしトルクドライバーがない場合は、六角レンチを使用し右図の番号順に締めていくが、その際締めすぎないように少しずつ慎重に締める。
6. 脚の開閉テストをし、必要であれば再度調整する。



注意！脚の摩擦やストレスの増加で、部品やボール部分の損傷に繋がる為、必要以上に調整を行わないでください。

## flowtech 75/100三脚

-  **ボール径:**  
75 mm/100mm
  -  **最大耐荷重:**  
20 kg/25kg
  -  **質量:**  
2.9 kg/3.2kg
  -  **運搬寸法:**  
67.4 cm/ 67.4 cm (ラバーフィートを含む)
  -  **使用温度範囲:**  
-40 °C ~ +60 °C/-40 °C ~ +60 °C
  -  **最大使用高さ(ヒンジロックを使用したスプレッダー不使用モード):**  
153 cm/153 cm
  -  **最小使用高さ(ヒンジロックを使用したスプレッダー不使用モード):**  
26 cm/26 cm
  -  **最大使用高さ(中間スプレッダーを使用したスプレッダー使用モード):**  
157 cm/155cm
  -  **最小使用高さ(中間スプレッダーを使用したスプレッダー使用モード):**  
63 cm/52cm
  -  **最大使用高さ(グラウンドスプレッダーを使用したスプレッダー使用モード):**  
158cm/159cm
  -  **最小使用高さ(グラウンドスプレッダーを使用したスプレッダー使用モード):**  
41cm/43cm
-  **脚部素材:**  
カーボンファイバー/カーボンファイバー
-  **伸長段数:**  
3段/3段

※ラバーフィート不使用時、三脚の高さは最大1.8 cm低くなります。



Two legendary brands  
**ONE REVOLUTIONARY TRIPOD**

**お問い合わせ先：**

**ヴィデナムプロダクションソリューションズ株式会社**

〒105-0011 東京都 港区 芝公園 3-1-38

芝公園三丁目ビル 1階

TEL：03-5777-8040 FAX：03-5777-8041

**大阪オフィス**

〒531-0072 大阪府 大阪市 北区 豊崎 5-2-13

TEL：06-6359-2440 FAX：06-6359-2441

[www.videndum-vps.jp](http://www.videndum-vps.jp)



※ 本取扱説明書の内容、および製品のデザイン・仕様等は、予告なく変更になる場合がございます。

Rev.2.0 更新：2022年 6月